

福祉サービス第三者評価 放課後児童健全育成事業版報告書 基本情報

①第三者評価機関名

株式会社ウエルビー

②施設・事業所情報

名称：清瀬市立清瀬小第1学童クラブ	代表者氏名：主任 小松 健治
所在地：東京都清瀬市中里5-741	TEL：042-493-5408
利用者数：96名	
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日：昭和42年	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ	
職員数	常勤職員：3名 非常勤職員：2名
専門職員	（専門職の名称） 放課後児童支援員：3名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）

③理念・基本方針

「理念」

- 「こども」「保護者」「支援員」みんなが主役である。
- 子どもの発達段階に応じた主体的な遊びを通じて自主性、社会性、創造性を伸ばすことができるように支援をしていく
- 子どもを中心に保護者と支援員がともに考え、共有しながら一緒に子育てする場を運営する。
- 子どもが健やかに成長していくこと、異年齢のこどもたちや障害を持った子どもたちも一緒に生活し、どの子ども大切にされる育成をめざす。

「基本方針」

- ★子どもが自分の思いを出せる場であること。みんなが自分をさらけだしながら成長し合える場所であること。
- ★子ども同士で楽しく過ごせるように、サポートする。支援員は縁の下の力持ち子ども同士が主体性を持てるように手助けをする。
- ★各家庭の育児方針を受け止める。これが正解という育児はありません。各家庭の育児方法に耳を傾ける。
- ★事故を未然に防ぐために安全管理を徹底する。子どもも保護者も事故や怪我の心配をしなくても良い環境を整える。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・学校併設のため、登降所が安全である。また、校庭にすぐ出られるため、外遊びが多い。
- ・ミニビクニックと称し、金山緑地公園に遊びに行っている。虫を捕まえたり、おやつを食べたりと楽しんだ。
- ・7月から毎週金曜日に自分の上履きを洗い干して帰っている。
- ・仲良くなるために、4月当初、班での活動を意図的に取り入れた。9月に班替えをし、班対抗クイズ大会を行った。
- ・児童の構成として1年生と2年生しかいない。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間 2022年9月	
受審回数（前回の受審時期）	

⑥総評

◇特に評価の高い点

●市内の学童クラブの必要性の高まり等によって、行政措置の改変等による区割りや所属への変更等が生じている中での運営のようですが、様々な学童クラブでの経験を積んだ主任や経験ある職員たちの努力で受託を受けた法人の適切な指導や対応が行われており、同時に行われた保護者へのアンケートでも9割近い保護者から「満足」以上の高い評価を受けており、運営方式や行政措置の変更等にも拘らず、安定した運営が行われていることが伺えます。主任は現在の状況はベースは出来ており、もう一つ上の段階を目指すようにして、周辺との交流としてコンビニへの買い物、ミニビクニックの実施、親子レクリエーションの企画、実施や子供たちへの生活習慣の習得で定期的に下履きの洗濯を行う等の指導を行っており、子どもにとっても充実した運営が展開されています。

◇改善を求められる点

●当クラブに限りませんが、指定管理後未だ比較的年月が過ぎていないので、法人本部が主導して運営の展開を行っていることは理解できます。また運営受託後の各クラブの事業の進展、事業を取り巻く環境等の把握、経営状況を見定める必要があることも理解できます。今年度から、育成についての計画の策定等の実施に取りかかりました。段階は必要ですが、育成だけではなく事業運営の面でも個々のクラブが主体的に取り組んでいけるようなプログラムも必要ではないかと思われまます。そのためには中心となる主任及びそれを支える人材の育成が必要となりますが、各クラブで素晴らしいアイデアや取り組みがあることを共有していく機会等を持つことはどうでしょうか。今迄は時間が足りないとの話がありましたが、主任、それを支える人材が相互の考えや意見、アイデアを共有していくことによる、より良い育成へと繋がることを期待します。